

| 資料番号 サブナンバー | 名 称 | 内 容 |
|----------------|---------------------------|---|
| 052266-0001 | 東大 動揺試験装置 (原子力工学科向) | この動揺試験装置は、東大の原子動力実験装置(-0002参照)の構成要素の一つである。 動揺台上に供試体(構造模型)を取付け、油圧シリンダー装置により上下、角度、水平の動揺を与える。 製造は森試験機製作所。以下に資料の概要を記す。 ①動揺試験装置仕様書、森試験機製作所、B5。 内容の若干異なるものが2部ある。その1部には、取締役社長 森米次郎の印、3pと図面。 他の1部は2pと図面。図面には昭和39年4月6日等の日付。 同じものが、-0002原子動力実験装置にもある。 ②動揺試験装置(本体部)の承認願図。 森試験機製作所、A4ファイルに20枚の図面。 ③動揺試験装置(油圧装置及び電気部)の承認願図。 森試験機製作所、A4ファイルに17枚の図面。 ④見積書、森試験機製作所、昭和39年4月10日。 ⑤原子動力実験室計画図(打合せ用)、一階平面図。 動揺試験装置を含む様々な装置が記載されている。 K. Iida のサイン、昭和39年7月3日の日付。 ⑥動揺試験装置の性能を検討した手書き資料、 森試験機製作所、昭39年3月17日、A4、8p。 ⑦打合せメモ、昭和39年4月4日、A4、3p。 ⑧油圧系統図、昭和38年6月29日(計画段階と思われる)、 その他、名称の無い図面2枚。 |
| 052266-0002 | 東大 原子動力実験装置 | 原子動力実験装置は、原子動力に関する工学的研究と教育を目標とし、構造系試験装置と熱系試験装置から成る。 前者には動揺試験装置(-0001参照)が含まれる。 原子動力実験装置関係資料の詳細は省略する。 |
| 052266-0003 | 東大宇宙研 走行試験設備 | ①走行試験設備仕様書(案)、東京大学宇宙航空研究所、A4、14p。 V/STOL航空機の低速飛行状態での模型飛行実験設備であり、台車、軌道、制御装置などを含む。 工事予定表から、昭和41年頃の作成と推測される。 |
| 052266-0004 | 船研造波装置 | 運輸技術研究所の造波及消波装置、青焼、完成図面。 日本鋼管(株)鶴見造船所製作、昭和35年4月4日出図印。 ①造波及消波装置全体配備図、1/100 ②造波装置用造波板(二改)、1/15、1/2、1/1 ③造波装置用ストローク加減装置組立図、1/2、1/10 ④造波装置主減速装置組立断面、1/5、1/2.5 ⑤造波装置副減速機組立断面、1/5、1/10 |
| 052266-0005 | 三菱造船造波装置 | 三菱造船・船型試験場の造波及消波装置、青焼図面。 ①造波装置一般配置図(平面)、1/20、1953年8月18日 ② 同上 (側面)、1/20、1953年8月18日 ③消波装置改造 消波板組立図、1/10、昭和33年11月25日 ④大水槽消波装置 西端部消波枠組立図(平面)、1/5、 1955年12月27日 ⑤大水槽消波装置 西端部消波枠組立側面図、1/5、1955年12月14日 ⑥ストローク加減装置の手書きスケッチ図 |
| 052266-0006 | 東大 船舶航海性能試験水槽 | 東大「船舶航海性能試験水槽」(千葉県弥生町および東京都文京区本郷)のカタログおよび解説。 ①JTTC向け英文カタログ、A4、3p "SEAKEEPING AND MANOEUVRING TANK(1969)" ②ITTC向け英文カタログ、A4、1p "SEAKEEPING AND MANOEUVRING TANK(1969)" ③ITTC向け英文カタログ、A4、1p "SEAKEEPING BASIN(1942)" ④「東京大学船舶航海性能試験水槽について(第2報)」 元良ほか6名、B5、8p、昭和46年5月、造船学会講演会 |

| 資料番号—サブナンバー | 名 称 | 内 容 |
|-------------|--------------|---|
| 052266-0007 | 試験水槽関連設備 | <p>試験水槽に関連する設備・計器などの資料。 断片的であり、相互の関連などは不明である。</p> <p>①「振子式動揺計設計図」と記された図面箱の3枚の青図 ・振子式動揺計、(1/1)、製図時期:昭和28~29年、東大工学部船舶工学科作成 ・動揺試験計測装置用ドラム、(1/2)、作成者不明 ・ドラム回転用連動装置略図、(現尺)、作成者不明</p> <p>②「パンダグラフ式動揺計」、角度検定表の原図、手書きメモとデータ、A4、7枚、検定時期:昭和35年12月、安定性能研究室</p> <p>③「強制ヨーイング装置」と記された封筒に、「台車移動用レール台」の図面が2枚、B4、(尺度1/100)</p> <p>④「運動性能水槽曳航台車」、速度設定盤目盛と実速度の関係、昭和49年7月9日検定、A3とA4のグラフ3枚</p> <p>⑤手動油圧操舵機効率試験記録、A2、1p、昭和41年8月22日作成</p> <p>⑥VR-4101波高計 昇降装置図面、A3、同じもの2枚 (-0009の⑬と関連?)</p> <p>⑦打合覚、電子式自動平衡型記録計、2ペンレコーダー(B24型)仕様打合せ、理化電機工業(株)、昭和40年11月、A4、1p+カタログ、および同社製品カタログ2件</p> |
| 052266-0008 | 取扱説明書及びカタログ類 | <p>運動性能水槽曳航台車(-0007の④)と同じ図面箱に収蔵されていた取扱説明書類。曳航台車との関連は不明</p> <p>①自航装置取扱説明書、電子工業(株)、A4、4p+付図 2部あり</p> <p>②磁わいトルク計 取扱説明書、同上、A4、3p+付図</p> <p>③舵検力計 取扱説明書、同上、A4、4p+付図</p> <p>④インペラ駆動用補助アンプ仕様書、同上、A4、2p+付図</p> <p>⑤アナログ演算器、加減算・積分回路ほかの図面、同上、A4~A3、4枚、昭和45年</p> <p>⑥7025型追従式2出力直流安定化電源 取扱説明書、菊水電子工業(株)、A4、18p+付図</p> <p>⑦DS6/MTH型動歪測定器 取扱説明書、新興通信(株)、A4、48p</p> <p>⑧D-76B型 試験成績書、理研電子(株)、A4、1p</p> <p>⑨波浪衝撃実験用加速装置 取扱説明書、高千穂精機(株)、A4、19p+付図、メモ、昭和45年・48年</p> <p>⑩カタログ:砂面測定器、水位計増幅器、水素気泡発生器、圧力記録増幅器、精密多点温度測定器、D.C.AMPLIFIER、ペン書オシログラフ、生体電気増幅器、計測技研(株)</p> <p>⑪PB-1 ポテンシオアンプ試験成績書、ユニパルス(株)、A4、2p、昭和54年6月18日(-0009の⑫と関連?)</p> <p>⑫TEAC R-200型DR/FMポータブルレコーダー 取扱説明書、1970年6月、ティアック(株)、A4、35p+付図</p> <p>⑬TR-3824/3824X FREQUENCY COUNTER取扱説明書、タケダ理研工業(株)、A4、73p+付図</p> <p>⑭TR-5103 UNIVERSAL COUNTER 取扱説明書、タケダ理研工業(株)、A4、48p+付図</p> <p>⑮TR-6655 DIGITAL MULTIMETER 取扱説明書、タケダ理研工業(株)、A4、41p+付図</p> |

| 資料番号—サブナンバー | 名 称 | 内 容 |
|-------------|----------|--|
| 052266-0009 | 道具類取扱説明書 | <p>「道具類取扱説明書」と記された図面箱に収蔵されていた取扱説明書、検査成績書など。 以下に機器名と会社名を記す。取扱説明書は「取説」と略記。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①5S01形ビジグラフ取説、三栄測器(株) ②FR-301ビジグラフ取説、三栄測器(株) ③レクテグラフ8S専用前置増幅器取説、三栄測器(株) ④RECTI-HORIZ8S51、8S52、8S53 取説、三栄測器(株) ⑤レクテホリー検査成績書、三栄測器(株) ⑥RTP-500Aデータレコーダ取説、(株)共和電業 ⑦RTP-500A検査成績書、(株)共和電業 ⑧RMS-11D検査成績書、(株)共和電業 ⑨MODEL LP-2 FV-611用フィルタユニット取説、(株)エヌエフ回路設計ブロック ⑩LP-2 FV-611用フィルタユニット試験成績書、(株)エヌエフ回路設計ブロック ⑪ストレンアンプType3126取説、(株)横川電機製作所 ⑫PB-1ポテンシオアンプ取説及び試験成績書、ユニパルス(株) ⑬VR-4101型超音波波高計、海上電機(株) ⑭THA-3形直流増幅器取説、3部あり、2部は検査成績書添付、豊田機工(株) ⑮18チャンネル直流増幅器取説、高千穂精機(株)他 ⑯波浪衝撃実験用加速装置試験成績書及び報告書、高千穂精機(株) ⑰リモートコントロール制御仕様書、(株)サム電子機械 ⑱水位計増巾器CA-203型取説及び試験成績書、計測技研(株) ⑲ギャップセンサー試験成績表、(株)電子応用 ⑳バーチカルジャイロ用直流増幅器取説、電子工業(株) ㉑力平衡型圧力変換器取説、東京航空計器(株) ㉒バーチカルジャイロ検査成績書、東京航空計器(株) ㉓Model D-73 試験成績書、理研電子(株) ㉔6023変位計取説、試験成績書を含む、新光電機(株) ㉕図面(白図)タイトルなし、有限会社 文化機器研究所 |